



2021.3/6[±]

18:30開演 (17:50開場)

音楽評論家 奥田佳道氏によるプレトーク開催〈18:10~〉

サラマンカホール 岐阜市薮田南 5-14-53

プログラム

ウェーバー:歌劇「オイリアンテ」作品81序曲

モーツァルト: ピアノ協奏曲 第24番 ハ短調 K.491*

ブラームス:交響曲 第1番 ハ短調 作品 68

岐阜県内の小中高生を対象にリハーサルを公開いたします ※詳細は裏面をご覧ください。

全席指定 S 5,500円 A 4,500円 [サラマンカメイト: S 4,950円 A 4,050円]

※学生半額(30歳まで)。 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

12/3余 発売 12/10余

*窓口 9:00~ *電話/インターネット 10:00~



主催:サラマンカホール 共催:公益社団法人

大阪フィルハーモニー協会



チケットのお求め|サラマンカホール チケットセンター 8-277-1110 [9:00~21:30]

サラマンカホール











│ 新型コロナウイルス感染症対策へのご協力のお願い │

指揮 ジョナサン・ブロックスハム Jonathan Bloxham

チェリストとして活躍していたジョナサン・ブロックスハムは2016年~2018年までミルガ・グラジニーテ=ティーラのもとバーミンガム市交響楽団のアシスタント指揮者として指揮活動を始めた。サマー・コンサートで共演したドイツ・カンマー・フィルからはレコーディング・プロジェクトと本拠地ブレーメンとハンブルクでの定期演奏会に、ティッツィアーティに代わり「ルサルカ」のリハーサルを担当したベルリン・ドイツ響からはすぐに2020年秋に招かれた。近年の客演はローザンヌ室内管、オーロラ管、BBCスコティッシュ管、マレーシア・フィル、バスク国立管などがあり、2019/2020シーズンはルクセンブルク・フィル、BBCウェールズ響、タピオラ・シンフォニエッタ、ロンドン・モーツァルト・プレイヤーズ、上海響、広州響、中国国立管などに客演し。、今後ハレ管、日本デビューが予定されている。昨シーズン、グラインドボーン・ツアー・オペラ「リゴレット」でアシスタントと2公演の指揮を務めたブロックスハムは、すぐに2020年にはブッチーニ作品を4公演、2021年にはグラインドボーン音楽祭でヴェルディ作品を指揮することが決定した。彼はこれまで11年間、出身地のニューキャッスルでノーザン・コード音楽祭の芸術監督を務めている。チェリストとして音楽活動を開始したジョナサンはこれまでにさまざまな賞を受賞し、ウィグモアホール、サウスバンクセンターなどで、マイケル・コリンズ、ジャック・リーベック、シューマン・カルテットなどと共演している。8歳からチェロを始め、ロイヤル・カレッジ・オブ・ミュージックやギルドホール音楽院などで学んだあと、シアン・エドワーズ、マイケル・シール、ニコラ・パスケ、パーヴォ・ヤルヴィに指揮を学んだ。





ピアノ 藤田真央 Mao Fujita

2019年6月チャイコフスキー国際コンクールで第2位を受賞。審査員や聴衆から熱狂的に支持され、世界中に注目された。2017年には弱冠18歳で、第27回クララ・ハスキル国際ピアノ・コンクール優勝。併せて「青年批評家賞」「聴衆賞」「現代曲賞」の特別賞を受賞。2016年には、故中村紘子氏が最後に音楽監督を務めた浜松国際ピアノアカデミーコンクールで第1位に輝くなど、国内外での受賞を重ねている。

2019/2020シーズンは、ゲルギエフ指揮マリインスキー歌劇場管弦楽団と共演しロンドン・デビュー。同団日本公演では、急な代役としてチャイコフスキー:ピアノ協奏曲第2番を演奏。多くの聴衆を魅了し指揮者やオーケストラからも讃辞を受けた。

これまでにルール音楽祭、ナントのラ・フォル・ジュルネに参加。2020年7月には、オンラインで開催されたヴェルビエ音楽祭のプログラム「ヴェルビエ・ジェネレーション~音楽祭が見つけた若き才能~」に抜擢され、リサイタルが世界中に配信された。

2020/2021シーズンは、ミュンヘン・フィルとの共演、ロンドン、パリ、ミュンヘンでのリサイタル、国内ではオーケストラとの共演、各地でのリサイタルとともに、春からは3年5回にわたり行う《モーツァルト:ピアノ・ソナタ全曲演奏会》をスタートする予定。

1998年東京生まれ。ロームミュージックファンデーション奨学生。江副記念リクルート財団第49回奨学生。

2020年、有望な若手に贈られる「第21回ホテルオークラ音楽賞」「第30回出光音楽賞」を受賞した。

大阪フィルハーモニー交響楽団

OSAKA PHILHARMONIC ORCHESTRA

1947年朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で創立、1960年改称。創立から2001年までの55年間、朝比奈隆が音楽総監督・常任指揮者を務めた。その後、2003~2011年まで大植英次が音楽監督、2014~2016年まで井上道義が首席指揮者を務め、2018年4月、尾高忠明が音楽監督に就任。現在、フェスティバルホール(大阪・中之島)を中心に全国各地で演奏活動を展開している。2020年秋、「ブラームス/交響曲第2番・第3番」「ブラームス/交響曲第4番」「ブルックナー/交響曲第3番」3枚のCDをリリース。http://www.osaka-phil.com/





〈プレトーク〉音楽評論家 奥田佳道 Yoshimichi Okuda

東京生れ。ヴァイオリンを学んだ後、ドイツ文学、西洋音楽史を専攻。ウィーン大学に留学。くらしき作陽大学講師、エリザベト音楽大学講師を務めた。NHK、日本テレビ、WOWOW、クラシカ・ジャパン、MUSIC BIRDなどの音楽番組に出演。20年以上に渡ってウィーン・フィルニューイヤーコンサート生中継の解説をFM、BS、Eテレのいずれかで行なった。2019年はBS4Kザルツブルク音楽祭ウィーン・フィル生放送の解説を担当。日曜朝のNHK「音楽の泉」第4代解説者。「ラジオ深夜便<クラシックの遺伝子>」に出演中。著書に「これがヴァイオリンの銘器だ」(音楽之友社)ほか。

公開リハーサルのご案内

2021年 **3月6**日 [土] 15:00~17:00(開場14:20)



岐阜県内の青少年を対象に本公演のリハーサルを公開いたします。見学を希望される方は「公開リハーサルのご案内」チラシまたはサラマンカホールのホームページをご覧ください。

●対象:岐阜県内の小中高校に在学中の児童生徒とその保護者。●予定定員:500名

後援:岐阜県教育委員会

申込期限:2021年2月13日(土)必着

のぞいちゃおう! オーケストラ公演ができるまで

2021年 3月6日 [土] 11:30(集合)~13:00(終了予定)



何も無い舞台が、いつの間にか70人ものオーケストラのステージに!? 普段は見ることのできない準備の様子を特別にご覧いただきます。 申し込み方法については「オーケストラ公演ができるまで」募集チラシまたは サラマンカホールのホームページをご覧ください。

●対象:小学4年生~6年生 ●募集人数:10名程度(先着順)

※定員になり次第締切

申込期限:2021年2月13日(土)必着

▲公開リハーサル/オーケストラ公演ができるまでのお問合せ先/サラマンカホール TEL.058-277-1113

サラマンカメイトのご案内

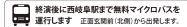


- ●チケットの先行販売
- ●チケットの割引(1公演2枚まで)
- ●ダイレクトメールによる コンサートのご案内
- ●グッズコーナーでの割引
- ※お電話(058-277-1110)でもお受けしております。 入会申込書をご郵送いたします。
- ※年会費2,000円
- ※入会申込書は、サラマンカホール チケットセンターに ご用意しています。
- ※年会費の口座振替もご利用ください。

交通アクセス・駐車場



●JR西岐阜駅から車で約5分(南口タクシー乗り場より約2km) ●JR東海道新幹線・岐阜羽島駅および名神高速道路・岐阜 羽島(Cより車で約20分 ●無料駐車場完備



公共交通機関

- ●JR岐阜駅(北口)より「岐阜バス」で約20分
- ●名鉄岐阜駅より「岐阜バス」で約25分 ●JR西岐阜駅(南口)より「西ぎふ・くるくるバス」 で約12分
- ●JR東海道本線・名古屋駅から西岐阜駅まで 約23分



客席のご案内

